


◆ 令和4年度 部長マニフェスト ◆ 生活環境部長

部の概要			
所属課と人員 (R4.4.1現在)	まちの振興課・環境政策課・ごみ減量課	74人	

部の運営方針

生活環境部は、コミュニティの振興、NPO・市民活動の推進など市民の暮らしの基本になることと、環境衛生、自然環境の保全、ごみ処理、消費者相談などの市民生活の環境を整える施策を一体的に担当することで、市民が生き生きと生活できる環境づくりを助長・支援し、総合的に市民の暮らしづくりを支えています。

令和4年度も、長引くコロナ禍の状況に応じた施策を速やかに打ってまいります。

商工振興策では、引き続きコロナ禍にあえぐ中小企業支援を迅速に行うとともに、くにたちの賑わいを取り戻すための施策を推進していきます。

ごみ減量施策においては、コロナ禍で大きく変化したごみ排出量の変化を見極めながら、ごみ減量による環境負荷の低減を進めるための施策を実施し、今年度はとりわけフードロス対策に注力していきます。

地球温暖化対策については、2050年ゼロカーボンシティの実現に向けたまちづくりを推進するため、国立市域地球温暖化対策実行アクションプランの見直し、地球温暖化対策実行計画区域施策編の策定に着手するとともに、市内に残る貴重な緑を保全していきます。

また、もっとも市民に身近な部であることから、丁寧かつ迅速な接遇を行います。

令和4年度の重点項目				
No.	項目	具体的内容	達成状況(年度末評価)	達成度
1	コロナ禍における中小企業支援	新型コロナウイルス感染症の流行により、甚大な影響を受けている中小企業者の支援策を引き続き迅速に行います。商工会と連携しKuni-Bizの円滑な運営を行うとともに、SDGsの観点も取り入れた支援にも取り組みます。	中小企業支援としてキャッシュレス決済キャンペーンについては「PayPay」に加え「auPAY」を追加し、11月に実施しました。執行率は98.74%と過去最高を記録した。また商店会に対しプレミアム付き商品券発行に係る補助制度を追加、4つの団体が商品券発行事業を実施し、市内のほぼ全エリアをカバーすることができました。また光熱費高騰対策とし「中小企業等光熱費高騰対策支援金」を創設し、960件超支給しました。また、SDGsビジネスセミナーを開催しました。Kuni-Bizについては、センター長が交代することとなり、R5年度に立て直しを行います。	B
2	空き家対策の推進	市内空家等の適正管理を推進するため、周辺に悪影響を及ぼす管理不適正な空家等の特定空家等認定に向けて立入調査を実施し、必要に応じて空家等対策審議会への諮問を行います(目標処理件数:3件)。また昨年度進めることができなかった空家等対策計画の策定に着手します。	特定空き家候補4件について立入調査を実施のうえ空家等対策審議会に諮問、特定空家認定に至りました。このうち2件については、勧告の実施まで行いました。また、空き家等対策計画については骨子作成に着手しました。	A
3	地域コミュニティ振興	社会福祉協議会及びくにたち地域コラボと連携し、相談・研修事業等により市民活動等への支援を充実させるため、新たな仕組みを構築します。市内で日ごろから積極的に地域で活動している市民団体やNPO法人などを有機的に結び、コロナ禍で失われつつある地域の活力を取り戻すため、今年度は地域活動団体の実態調査に着手します。	令和4年度からは新たに社会福祉協議会への委託という形で業態変更を行いました。結果として、資金調達等、地域活動に不可欠な専門性の高い分野の支援(研修事業等)を実施したほか、市民活動や市民連携に向けた相談対応についてもこれまで以上に充実した取り組みを行うことができました。地域活動団体の実態調査については、対象の洗い出しを完了いたしました。	A
4	市域全体の温暖化防止対策の推進	2050ゼロカーボンシティ宣言都市として、目標達成に向け国立市域地球温暖化対策実行アクションプランの見直し、地球温暖化対策実行計画区域施策編の策定に着手します。また、具体的な施策として市役所本庁舎、市立中学校3校に加え、市立小学校8校でも再生可能エネルギー100%の電力調達を行います。加えて引き続き北秋田市との連携事業であるカーボンオフセット事業を行うほか、各種補助金事業補助制度については周知に努め、例年どおり予算執行率90%以上を目指します。	国立市域地球温暖化対策実行アクションプランの見直し、地球温暖化対策実行計画区域施策編の策定に先駆け、ゼロカーボンシティ実現に向けたロードマップを策定いたしました。市役所本庁舎、市立中学校3校に加え、市立小学校8校で使用する電力も再生可能エネルギー100%に切り替えが完了しました。北秋田市とのカーボンオフセット事業についても順調に事業実施いたしました。各種補助事業については、90%以上執行することができました。	A

5	魅力ある公園づくり	<p>都市公園の在り方について考え方を整理し、施設の老朽化に対する安全対策の強化と、将来の改築・更新にかかるコストの削減や平準化を図ることを目的として公園長寿命化計画を策定します。また、障害の有無に関わらず、子どもたちが一緒に遊べる遊具(インクルーシブ遊具)のある公園整備に向けて、公園利用者や地域住民からの意見を集約します。そのうえで令和5年度の公園整備工事に向けて事業推進していきます。</p>	<p>公園施設長寿命化計画は策定完了しました。インクルーシブ公園整備については谷保第4公園で小学生向けアンケートを実施したほか、市立小学校全校へやしやがいがい者支援施設へのアンケート実施も含めて、関係者へのきめ細かい対応を実施しました。ユニバーサル遊具やゴムチップ舗装のイメージで、R5年度に谷保第四公園をインクルーシブ公園としてリニューアルしていきます。</p>	A
6	持続可能な循環型社会構築を目指す取り組み	<p>コロナ禍で大きく変化したごみ排出量の状況を見極めながら、持続可能な循環型社会構築を目指すため下記の施策に取り組めます。</p> <p>①(仮称)食品ロス削減推進計画の策定に着手します。</p> <p>②ペットボトルについて水平リサイクル(ボトルtoボトル)を目指します。</p> <p>③エコショップについて、SDGsの観点も加えた形での拡大を目指します。</p>	<p>①国立市食品ロス削減推進基本計画を策定し、令和5年4月から計画を推進していきます。</p> <p>②サントリーグループと令和5年4月から使用済みペットボトルを新たにペットボトルに再生させる水平リサイクル事業に関する締結を締結し、循環型社会の形成及びCO₂削減を推進することとしました。</p> <p>③制度変更、店舗拡充ともに達成できませんでした。R5年度に再度</p>	B

【達成度】 A…100% B…80%以上100%未満 C…50%以上80%未満 D25%以上50%未満 E25%未満